

名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT NO 924

＜本年度クラブ会長方針＞

LEAD THE WAY - 率先しよう



承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 神田 憲 URL <http://www.nagoya-osu.org> Email office@nagoya-osu.org
 幹事 内藤 明 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337
 事務局 460-0008 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル 6F

2006～2007年度
R.I. 会長
ウィリアム B. ボイド

会員増強及び拡大月間

第1078 回例会

於 名古屋東急ホテル

平成18年8月24日(木)

会員 68名

出席計算数 64名 47名出席

出席率 73.44%

前々回出席率 92.19%

ロータリーソング

「ROTARY-ARY」

指揮者 大原 敏正
 ピアノ伴奏 電板 玲子

ゲスト

尾陽木 偶師 九代目

玉屋 庄兵衛さん

玉屋さんの助手

松本 幸夫さん



ソニアさんと玉屋さん

青少年交換学生

ソニア・パンナソンさん

ホストファミリー

吉田 由美子さん

バナナ

KAUNIAINEN-GRANKULLA ROTARY-CLUB

SUOMI-FINLAND

(ソニアさんより)



ピクチャー

名古屋RC

パストガバナール内藤 明人さん



ニコボックス

ソニアさん、ようこそ 加藤 正樹

MISS ソニア>Welcome to R.C.I. 伊藤 与則

玉屋庄兵衛さん、卓話よろしくお願 住田 正夫

いします。 高木 正義

事業所を大須3丁目に移しました、 柴岡 正将

今後ともよろしくお願いたします。 横井 衛

素晴らしいプレゼントをありがとうございました。 岩崎 征一

「云協まつり」のチケット、よろしく 尾上さんありがとうございます！

おねがいします。 川畑 博敬

尾上さん、横井さん、ありがとうございます。 小野さんお元気ですね。

さいます。 尾上 昇

尾上さんありがとうございます！

川畑 博敬

小野さんお元気ですね。

尾上 昇

尾上さんありがとうございます！

川畑 博敬

副会長挨拶



加藤 正樹

本日は神田会長がお休みですの
 で副会長の私が代わりに勤めさせ
 ていただきます。

さて、小泉さんの靖国参拝をめぐ
 っては世の中侃々諤々、喧々囂々騒
 がしい事で、書店に行きましてもこ
 の手の本が所狭しと並んでいます。

もとより薄学の私にその是非を判
 断する見識は持ちあわせておりま
 せんが、日本古代神話には多少興味
 を持っています。

たまたま奈良県桜井の三輪大社
 へぶらっと旅に出かけたのがきつか
 けですが、その後、記紀を始め、古代
 の神話にはまっています。神話のふ
 るさと「ヤマト、イヌモ」の話など、
 今後機会がありましたら、少しす
 つ話をさせていただけたいと思っ
 ます。

期待せずに是非期待ください。

期待せずに是非期待ください。

ソニアさん歓迎スピーチ

Hi Sonia!
 On behalf of our club members,
 I want to tell you.

Welcome to Japan.

We are very happy that you have
 come all the way to our country as
 an ambassador for Finland.

We will do every thing we can to
 make your stay here in Nagoya for
 Rotary youth exchange student
 year as enjoyable comfortable as
 possible.

And also we hope you to make many
 Japanese friends as you can.
 Have fun and enjoy yourself, good
 luck.



ソニアさんようこそ!

職業奉仕委員長からのお願ひ

大募集!

走者!



水田親王様

第13回チャリティーラン

2006年11月4日(土)

於:名城公園

2チーム12名 補欠4名

会費及びファミリー

卓話

「ものづくりの原点」

「からくり人形を学ぶ」

尾陽木偶師 九代目

玉屋 庄兵衛さん

からくり人形の歴史 からくり人形の起源は、中国伝来と考えられています。



弓を引くからくり人形を説明する 玉屋庄兵衛さん

最後のからくり人形に関する記事は、平安時代の『昔物語集』にて

いる、高陽親王(かやのみこと)の作った機械人形の話しです。これは水田の日照り対策として灌漑用のからくり人形だったそうです。

仕掛けは、水田の中に立っている人形に器を持たせ、器に水を満たしてやると人形が自動的に自分の顔へ水をかけるというものでした。

伝え聞いた人達が田圃へ押し掛け、我も我もと水を器に入れる為水田の水枯れを防ぐことができたそうです。



百発百中! 弓射り童子

その後、からくりの世界を大きく発展させたのが、江戸時代・寛文元年(1662年)に「竹田近江(ただおつみ)」が大坂道頓堀で旗揚げ興行した、からくり人形芝居「竹田からくり」と言われています。

からくりには、「山車からくり」と「座敷からくり」があります。「山車」は祭礼の際、神が出現する機微を示す象徴です。

「からくり人形」は神の具象的な

物体として「山車」の上(山)つわやま(ま)に設置されています。山車からくりは、愛知県、岐阜県、群馬県、滋賀県、京都府、福岡県などに見られます。一つの中でも、愛知県、旧尾張藩には約2400台の山車に6000体を超えるからくり人形が乗っています。山車からくりには、「糸からくり」と「離れからくり」の2種類があります。

糸からくりの体内に仕込まれた糸を操作し人形を操り、「離れからくり」はゼンマイ、バネ、歯車を差し金などを操作し人形を操ります。



「お茶デス」 茶運人形

安土・桃山時代に公家や大名が楽しんでいた大名道具と呼ばれる高級玩具「御所人形」などが、発展して座敷からくりと呼ばれるようになりました。初期の作品の「御所人形」は、二丁・バネ・滑車など簡単な部品を装置しています。座敷からくりの代表的な作品は「茶運人形」です。井原西鶴が延宝二年(1674年)に出した「独吟百韻」で「ひびんひゃいん」の中で、「茶をはびん人形の車はたらきて」という句を載せています。そして、その注釈の中で「ゼンマイの車細工へるまやいん」にして、茶台をもたせて、おもつかたへさし向えしに、眼口のうごき、足取りのはたらき、手をのべて腰をかがむ、さながら人間の「ごと」と感嘆しています。

茶運人形の設計図と製作方法が、細川半蔵頼直が記した「機構図彙(からくりずい)」(寛政八年・1796年)の中にあります。これは、江戸時代の機械説明書でした。しかしながら、説明書はあつても本物の「茶運人形」は存在しませんでした。この「機構図彙」をお手本に、幻の人形とされていた「茶運人形」を完全復元したのが、七代玉屋庄兵衛(故・高科正守氏)でした。彼は、大平洋戦争の混乱期をへさんで、江戸時代から受け継いできた伝統技術を守り続けてきました。

ソニア・パンナネンさん

来日しました!

よろしくね!

8月22日(火)

於:中部国際空港

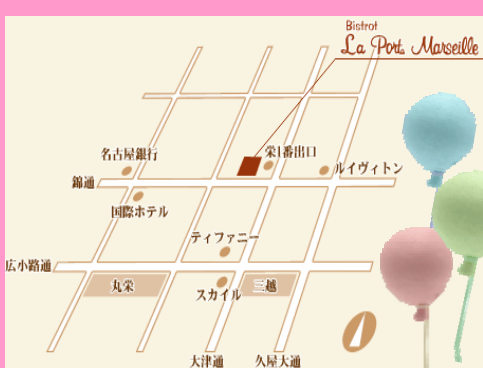


ソニア・パンナネンさん

歓迎パーティーのお知らせ

ソニアさんを皆さんで歓迎しましょう!

日時:9月7日(木) 18時30分
於:ラ・ポルトマルセイユ



9月7日(木)例会の御案内

例会場変更

ローズコートホテル

敬老のお祝い

卓話

「日本と国際社会・国際関係」

フォーチュネックス株式会社代表

セナ・ヴァファさん

プリンテン委員会

山口 正孝・神野 邦利・大原 敏正

